

7/12 ~ 9/6 梨風書作展〜筆の音が聞こえる〜



紙のまち資料館で、書家の小山梨風^{りふう}さんの軸装や額装された作品約30点が展示されました。百福の新作には「新型コロナウイルスに打ち勝つために、乗り越えられないものは無い。みんなの力を合わせたら必ずやつつけられる」という願いが込められています。

7/18 ~ 8/31 夏休み特別企画「世界の昆虫展」



霧の森ふれあい館ギャラリーでは、世界の珍しいカブトムシやクワガタ、蝶などの標本が展示され、昆虫展を訪れた子どもは「日本のカブトムシは飼っているけど、外国のカブトムシで生きているものは初めて見ました。カッコよかったです」と話していました。

8/3 応急手当普及員に認定



市消防本部が、8/1 ~ 8/3の3日間、基礎的な知識技能・指導要領・効果測定・指導に関する講習を行い、市内小・中・高等学校教諭など6名に認定証を交付しました。認定者は今後、所属する学校や事業所の職員に対して、救急講習を指導することができます。

9/3 保育園芸術士派遣事業



上分保育園で、芸術士長谷川隆子さんによる「セロハンを使った変身ごっこ」が行われました。園児たちは「卵みたいに丸まったところからさなぎになり、羽を広げて飛んだり跳ねたりするのがおもしろかった。とてもかわいくできた」と話し、とても喜んでいました。

8/22・8/29・8/30 しこちゅ〜ホール1周年記念事業「YEAH!! マジカゼミュージックフェス2020」開催!!



第1弾「JAZZ NIGHT」



第2弾「コピバンROCK NIGHT」



第3弾「ROCK NIGHT」

新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的にライブハウスなどでのライブやコンサートが中止・延期となり、アーティスト達の発表の場が失われている中、本イベントでは、客席数の縮小、大声を出さない、ソーシャルディスタンスの確保などの感染防止対策を徹底することで実現しました。

本イベントの出演者は、県内を拠点とするバンドや本市にゆかりのあるアーティストで、現在のコロナ禍でライブが行えることへの喜びや、音楽の持つ力などについて伝えながら、大迫力の演奏で会場を盛り上げました。訪れた方は「間近で迫力のある演奏を聴くことができ、とても楽しめた」と話していました。



第13回書道パフォーマンス甲子園代替事業作品展示



愛媛県立川之江高等学校

新型コロナウイルスの影響で中止した書道パフォーマンス甲子園の代替事業の一つとして、全国33校から応募のあった書道パフォーマンス作品を市内の公共施設などに展示しています。

ほとんどの作品が大会と同じ縦4m、横6mの紙に揮毫され、その巨大な作品からはこれまでの厳しい練習の成果はもちろんのこと、コロナ禍でも前に進もうとする高校生達の強い気持ちなどを感じることができます。

作品展示の詳細は、書道パフォーマンス甲子園公式ホームページでご確認ください。



高松商業高校(香川県)



高松西高校(香川県)



山口高校(山口県)



松本蟻ヶ崎高校(長野県)



尾道高校(広島県)



鳥取城北高校(鳥取県)

絵を描くことが好きな人は、スケッチしても、スマートフォンにわかりやすく描く。私は、時々、自分の心をスケッチして、後日それを見てみたいと思うことがある。心はふらふらしている。自分でもわからなくなることもある。それは遠近法も、濃淡もなく時間的存在感も薄い。記憶というものに頼らざるを得ない。

さまざまな揉め事も、記憶がスケッチされていたら、相当すっきりするのではないかと、民事裁判もおそらく、半分以上になるのではないかとと思う。

先日、風の強い台風がやってきた。稲穂もサトイモも相当被害が出ることを心配した。昔、ゴルフでシングルプレーヤーになるとお祝いをした。稲穂は実るほど頭を垂れる。うまくなるほど、謙虚になれということの言葉に使われていた。

スケッチにしたら面白いことも、文字では何も伝わらないこともある。夏休みも終わり、日常にみんなの生活が戻ってきている。

今、この時をこの一瞬を大事にして、みんな寂しいことも、面白いこともありますが、まず足元を見て、がんばろう！

市長のひとりごと



四国中央市長 篠原 実

「こころのスケッチ」

